記入例

A. 主催タイプ

（様式１－１）

令和3年度 伝統文化親子教室事業（地域展開型） 実施計画書

地方公共団体名	京都府〇〇市
担当部署	〇〇課〇〇室
担当者職・氏名	主任・文化　太郎
所在地	（〒123－4567） 京都府〇〇市〇〇〇〇〇〇
TEL	000-00-0000　／FAX　000-00-0000
E-mail	〇〇〇@×××.lg.jp

1. 実施計画の名称	〇〇〇市伝統文化親子体験フェスタ
2. 実施計画の期間	令和3年9月〇〇日～令和3年12月〇〇日

3. 実施計画の背景・目的

※1 事業を実施するにあたっての背景や，本事業を通して解決したい地域課題等がわかるよう，具体的に記載してください

※2 事業を実施するにあたっての工夫点や，活用する地域特性・地域資源など，具体的に記載してください

※3 事業を実施することにより期待される効果などを記載してください

（1）〇〇市の背景

当市では，平成〇〇年に××計画を策定するなど，地域の文化や歴史的建造物群を活かしたまちづくりを進めてきた。 具体的には，地域の〇〇を活かし・・・・・・・・・・。

（2）地域課題

過疎化や少子高齢化等により，地域の伝統芸能の担い手が不足し，地域の子供に継承していくの数が減少し減っている状況にあり・・・・・・。

（3）事業を実施する上での工夫点や活用する地域特性・地域資源など

当市では，これまでから茶道体験教室や華道体験教室，郷土食作り体験教室など，地域の親子を対象とした様々な伝統文化を体験できる教室を実施してきた。今回はこれまで実施してきた体験教室に加え，地域の伝統芸能〇〇太鼓や△△△などを体験できる教室を，〇〇太鼓保存会の協力を得て・・・・・・・・。

（4）本事業を実施することで期待される効果

本フェスタで実施する体験教室において，子供たちが茶道や華道，地域の伝統芸能〇〇太鼓や△△△を体験する機会を提供することで，子供たちが地域に誇りを持つとともに，各分野を横断したネットワークを構築することが出来る。

また，ここで構築されるネットワークを次年度以降も継続していくために，半年に1回程度のネットワーク会議を〇〇市が主体となって実施予定。

4. 対象とする伝統文化・生活文化・国民娯楽

※地域連携タイプの場合は各教室分記載してください

茶道、華道、食文化、伝統芸能（〇〇太鼓、△△△）

（様式１－２）

A．主催タイプ

5．実施事業の内容　*※必要に応じ枠の大きさは変更してよいが3ページ以内*

※1 取組に係る内容や想定される効果など，具体的に記載してください

※2 教室実施型と連携して実施する場合，その団体名及び教室名を記載してください

※3 地域連携事業の場合，事務局で実施する事業と各教室で実施する事業に分けて記載してください

〇〇〇市伝統文化親子体験フェスタ

■開催時期：令和3年11月頃　1日間（予定）

■開催場所：〇〇〇市総合文化会館

■参加対象者及び参加予定者数：市内在住の親子　200名

■内容

（1）伝統文化体験ブース

①茶道体験

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

②華道体験

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

③伝統芸能体験

・〇〇太鼓

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

・△△△

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

6．実施事業の体制

※どのような体制で事業を行うか，具体的に記載してください

地域連携事業の場合は取りまとめる各団体名及び教室名も記載してください。

・市役所内での関係課との連携

〇〇課や市教育委員会とも連携。事前の関係者連絡会議から参画予定。

・市内の関係団体との連携

〇〇太鼓保存会や□□□会の協力を得て実施。事前の関係者連絡会議から参画予定。

・参加団体によるネットワーク会議の開催

参加団体によるネットワーク会議を構築し，教室終了後に反省会と今後の市内の伝統文化等の現状について意見交換を実施する。

7．実施事業の広報

※どのような広報活動を行うか，具体的に記載してください

・市広報誌による周知
・市内小学校へのチラシ配布
・市内の公民館，お店等へのチラシ配布
・SNS等を活用した広報活動

A．主催タイプ　（様式１－３）

8.「5．実施事業の内容」に以下の取組を含む場合，その内容
※1　該当する項目のみ記載してください　※2　必要に応じ枠の大きさは変更してよいが1ページ以内

（1）伝統文化親子教室事業（教室実施型）の実施教室数が少ない地域での取組

※地域での伝統文化親子教室事業（教室実施型）の実施教室数の状況がわかるよう，具体的に記載してください

・当市の伝統文化親子教室事業（教室実施型）の教室数は，〇であり，地域の子供たちの体験機会充実を目的に実施する。

（2）地域の特色ある生活文化等を活かした取組

※取組状況がわかるよう，具体的に記載してください

・当市の郷土芸能である□□を実際に親子で体験するブースを設けるとともに，□□の歴史や由来を説明するパネル展示コーナーを設ける

（3）伝統文化親子教室事業（教室実施型）の講師等を活用した取組

※取組状況がわかるよう，具体的に記載してください

・伝統文化親子教室事業（教室実施型）を平成19年度から実施している〇〇太鼓保存会の講師による〇〇太鼓体験ブースを設置

（4）キッズウィーク等の休日における体験機会の充実や共生社会実現のため障害者や高齢者等の参加を促進する内容を含む取組

※取組状況がわかるよう，具体的に記載してください

・当市では，〇月〇日～〇〇日をキッズウィークとして設定しており，本事業も当該期間を活用し，
地域の子供たちの体験機会拡充を目的に実施するもの。

（5）教員が伝統文化等について子供たちに効果的に伝えていくために必要な基本的な知識の習得や体験をする機会を設ける取組

※取組状況がわかるよう，具体的に記載してください

（6）実施する取組が地域の課題解決に資するような取組

※地域の課題や取組状況がわかるよう，具体的に記載してください

【収支予算書】(伝統文化親子教室事業(地域展開型)A. 主催タイプ)　　(様式1-4)

(収入の部)　　(単位:円)

区　分	予定額	備　考
自己負担額	0	
その他の収入	0	
小　計	0	
支援金額	1,500,000	
合　計	1,500,000	

(支出の部)　　(単位:円)

	費目	積算内訳	支出予定額	支援対象経費
事業費	諸謝金	講師謝金　5,100円×4時間×10名	204,000	204,000
		講師補助者謝金　5,100円×4時間×10名	204,000	204,000
		関係者連絡会議出席謝金　14,000円×5名	70,000	70,000
	旅費	講師旅費　1,000円×10名	10,000	10,000
		講師補助者旅費　1,000円×10 名	10,000	10,000
		関係者連絡会議出席旅費　1,000円×5名	5,000	5,000
	借損料	会場使用料(文化会館)	200,000	200,000
		会議室使用料(関係者連絡会議)	10,000	10,000
		衣装・用具借損料	100,000	100,000
	消耗品費	茶道体験ブース消耗品(茶筅, 茶菓子等)	20,000	20,000
		華道体験ブース消耗品(花代, オアシス等)	30,000	30,000
		食文化体験ブース消耗品(材料費, 紙ナプキン等)	30,000	30,000
		民俗芸能体験ブース消耗品(子供用バチ)	10,000	10,000
		会議用飲料(150円×5名)	750	750
	通信運搬費	チラシ郵送代(100か所)	60,000	60,000
	雑役務費	チラシ作成費(5,000枚)	50,000	50,000
		会場設営費	466,250	466,250
	保険料	傷害保険代100円×200人	20,000	20,000
再委託費	再委託費			
事業実施経費計			1,500,000	1,500,000

【登録表】A．主催タイプ
・様式１－１～１－４の内容を以下の表に簡潔に記載してください。
・本表の各項目番号は様式１－１～１－４の項目番号とリンクしています。

項目番号				（様式１－１　項目１）	（様式１－１　項目２）	（様式１－１ 項目３）	（様式１－１ 項目４）	（様式１－２ 項目５）	（様式１－２ 項目６）	（様式１－２　項目７）	（様式１－３　項目８）						（様式１－４）		（様式１－１）				
											次のいずれかについて配慮した取組であれば記載ください。（加点項目）								連絡担当者				
都道府県名	応募団体名（地方公共団体名）	応募団体代表者職名	応募団体代表者名	実施計画の名称	実施計画の期間	実施計画の背景・目的	対象とする分野	事業内容	実施体制	実施事業の広報	伝統文化親子教室事業（教室実施型）の実施教室数が少ない地域での取組	地域の特色ある生活文化等を活かした取組	伝統文化親子教室事業（教室実施型）の講師等を活用した取組	キッズウィーク等の休日における体験機会の充実や共生社会実現のための障害者や高齢者等の参加を促進する内容を含む取組	教員が伝統文化等について子供たちに効果的に伝えていくために必要な基本的な知識の習得や体験をする機会を設ける取組	実施する取組が地域の課題解決に資するような取組	総事業費（円）	申請額（円）	所属部署	氏名	住所	連絡先（電話）	連絡先（E-mail）
○○県	△△市	市長	●●　○○	○○○○○○○	令和3年○月○○日　～　令和4年○月○日	・○○○○○○○ ・△△△△△△△△ ・××××××××	茶道、華道、和食、和太鼓、囲碁	○○○○○○○○○○○ ①・・・・・・・・・・ ②・・・・・・・・・・ ③・・・・・・・・・・	○○○○○○○	○○○○○○○	○○○○○○○	○○○○○○○		○○○○○○○		○○○○○○○	2,000,000 円	1,500,000 円	△△市 文化政策課	文化　太郎	〒000-0000 京都市東山区 東大路通松原上る三丁目奥沙門町43-3	075-000-0000	bunka@bunka.go.jp
京都府	○○市	市長	京都　太郎	○○○市伝統文化親子体験フェスタ	令和3年9月○○日　～　令和3年12月○日	過疎化・少子化に伴い、地域での伝統文化の担い手が減少する中、様々な伝統文化を体験できる伝統文化親子体験フェスタを実施することで親子で伝統文化に興味を持つきかっけとする。	茶道、華道、食文化、伝統芸能（○○太鼓、△△△）	１日間で市総合文化会館に複数の伝統文化等（茶道、華道、伝統芸能（○○太鼓、△△△））を体験・学習できるブースを設置し、来場する親子に無料で体験・学習してもらう。	・市役所内での関係課との連携 ・市内の関係団体や伝統文化親子教室実施団体との連携	・市広報誌による周知 ・チラシ配布 ・ＳＮＳ等で情報発信	当市の伝統文化親子教室事業（教室実施型）の教室数は、０であり、地域の子供たちの体験機会充実を目的に実施。	・○○市の郷土芸能である□□を実際に親子で体験するブースを設けるとともに、□□の歴史や由来を説明するパネル展示コーナーを設置。	伝統文化親子教室事業（教室実施型）を平成１９年度から実施している○○太鼓保存会の講師による○○太鼓体験ブースを設置。	キッズウィークとして設定している○月○日～○○日の間に実施を予定			1,500,000 円	1,500,000 円	○○市 ○○課○○室	文化　太郎	〒123－4567 京都府○○市 ○○○○○○	000-00-0000	○○○@xxx.jp